

ゆうき

2022年(令和4年)12月19日
福山市立日吉台小学校
2年学年通信 No.24



～きく・うけとめる・こうどうする～

食育セミナー

12月13日(火)に、株式会社明治の方に来ていただき、食育セミナーを行いました。牛乳を飲むことが動植物の命をうけつぐことであると理解するとともに、酪農の仕事を知ることを通して、感謝の気持ちを育むことが目的です。

乳牛の大きさや牛乳を出す量、牛乳に含まれるカルシウムなどについて、動画やクイズを交えて話していただきました。乳牛に牛乳を出させるために、牝牛は1年に60日くらい休むだけであること、酪農家の仕事など、新しいことをたくさん知り、子ども達は驚いていました。

食育セミナー後の給食で、子どもたちは、「牛乳、今日は残さず飲むよ。」と、学んだことを自分の生活につなげていました。

にゆう牛について

大さわ るい

今日、にゆう牛についてのお話がありました。

ぼくは、今日学んだにゆう牛について、びっくりしたことが三つあります。

一つ目は、にゆう牛(ホルスタイン)が、よこはばがニメートルからニメートル二十センチメートル、たてはばが百四十から百五十五センチメートルあることです。おもしろい六百キログラムで、子ども二十人分だとは思いませんでした。

二つ目は、はんすうです。はんすうはえさを何回もかんで、胃にもどしてのくりかえしをすることで、びっくりしました。

三つ目は、カルシウムをとらないだけで、ほねがすかすかになることです。それだけのことで、ほねがすかすかになるとは思いませんでした。

ぼくは、これから、お母さん牛にかんしゃしながら牛にゆうをのんだり、やさいなどをしっかり食べたりして、けんこうな体を作っていこうと思います。

ミルク教室のふりかえり

渡辺 りこ

十二月十三日の三時間目に、牛にゆうについてのお話がありました。

そこで私をはじめ知ったことを紹介します。一つ目は、乳牛の大きさと重さです。

乳牛の大きさはつま先から背中までが百四十七センチメートルから百五十七センチメートルで、顔からしっぽまでがニメートルからニメートル二十センチメートルです。乳牛の重さは六百キログラムで、小学生二十人くらいの重さです。

二つ目は、乳牛のえさです。牧草だけを食べていると思っていたけれど、こく物も食べることが分かりました。

三つ目は、乳牛には胃が四つもあることです。体の中で「はんすう」をしているそうです。

四つ目は、カルシウムの量です。二百ミリリットルの牛乳に、カルシウムが二百二十七ミリグラムもあるそうです。

ミルク教室では、いろいろなことが知ることができて楽しかったです。

これからは、乳牛のお母さんにかんしゃをして牛乳を飲みたいです。

ミルク教室

宮本 かんすけ

今日ミルク教室がありました。にゆう牛について教えてもらいました。

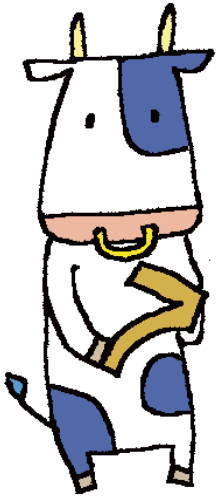
日本で一番たくさんいる牛のしゅるいは「ホルスタイン」で牛にゆうをたくさん出してくれるそうです。

牛には「い」が四つあって、「い」にいった食べものをまた口にもどして「い」に行くのをくりかえします。なんと十二時間ももぐもぐすることをくりかえすそうです。

また、一びきの牛が、一日に牛にゆうびん百五十本分も牛にゆうを出すそうです。

牛にゆうはえいようがいっぱいです。カルシウムはほねをつよくして、つよい体をつくれます。

ぼくは、牛にゆうが大すきだったけど、今日の話聞いてもつとすきになりました。ほんものの牛も見てみたくなかったし、ちちしぼりもしてみたいです。



牛にゆうのこと

さかい りょう

今日学校に、めいじの人が来てくれました。牛にゆうについて、話してくれました。

きゆう食がある日の男子は、百パーセントい上カルシウムが足りているのに、きゆう食がない日は、ひつようなカルシウムの七十四パーセントぐらしか足りていないのが分かりました。

さいごに、牛が一日にどのくらい牛にゆうを出すのか聞きました。牛は、一日に学校に出る牛にゆうの百五十本分出すのがびっくりしました。

これから、牛にゆうをのこさずのみたいなのと思いました。

